

ヤマザクラ

2020年(令和2年)2月11日(火)発行

新年にあたって

理事長 木田章一

新年明けましておめでとうございます。

昨年5月1日から万葉集が典拠となった新元号「令和」になって2年目、その「うるわしき和の精神」の意味を大事にしたい。

「ろうきん森の学校」は2期目（2015～2024年）の6年目となり、2期目の目的である「森づくり」から始めて「人づくり・地域づくり」につなげる環境教育事業をさらに発展させることを目指しています。当会も、この目的達成のため会員の皆さんとともに活動してまいります。

さて、新年にあたり昨年の主な活動を振り返ってみたいと思います。

【4月17日】環境省において、「みどりの日」自然環境功労者環境大臣表彰、自然ふれあい部門を受賞しました。受賞理由は、平成13年の設立以降、自然観察会や市内の幼稚園、小学校における木工クラフト、生活科や総合学習における野外活動等森林保全・自然環境保全に係る環境教育活動（学校支援活動）を実施するなど自然とのふれあい及び普及啓発活動に尽力してきたことが認められたことによります。

【2月・8月・11月】国際ワークキャンプの支援を3回実施しました。

- ・1回目（2/26～3/11）参加者7名（日本4名、フランス・デンマーク・ブルガリア各1名）
- ・2回目（8/27～9/10）参加者5名（日本3名、ロシア・メキシコ各1名）
- ・3回目（11/1～11/4）参加者7名（日本4名、香港3名）

※国際ワークキャンプとは、世界の若者達が共に生活しながら、住民たちと森林や畑の手入れ、古民家の修理など地域で必要とされる活動に取り組む合宿型ボランティア活動。

【12月1日】育樹祭を開催、今年で栗園跡地での開催6年目、薪炭林の森林にすべくクヌギを30本植樹し、15年計画のほぼ半分が経過しました。

昨年は「ろうきん森の学校」の新潟地区を訪れました。かみえちご山里ファン倶楽部は2001年に設立したNPO法人です。北陸新幹線、上越妙高駅から車で約15分の桑取地区が活動の中心で、以前、視察に行った上越市地球環境学校も管理しています。特筆すべきは、築170年の古民家を再整備した「平左衛門カフェ」やワラ細工を体験できる施設や宿泊施設など再生整備した施設が多いことです。

昨年から始めた、子ども達の自然体験活動のフィールド整備では、ツリーハウスが完成し、現在、約 50mの空中回廊を整備中です。今年はブランコを整備したいと思っています。また、次代を担う子どもたちがすこやかに育つよう「森と自然を活用した保育・幼児教育」の取り組みも検討したいと考えています。

農業班、木工班、森林整備班、プログラム班がある中、森林整備班の人数が少なく活動が思うように進みません。関心のある方を募集しております。

今年も「安全第一に楽しく」をモットーに活動していただくようお願いいたします。

ろうきん森の学校 2019 年度中間事務会議開催の報告

12月3日～4日の2日間新潟県上越市のNPO法人かみえちご山里ファン倶楽部の活動拠点において労金連合会の事務局と5地区代表が集まり開催されました。

会議では、2019年度の10月迄の事業報告を中心に行われましたが、2月16日東京で開催予定の15周年記念事業についても打合せを行いました。

現地見学では山里ファン倶楽部の活動拠点の中心である上越市くわどり市民の森と上越市地球環境学校をベースに行われました。この2つの施設とも山里ファン倶楽部が指定管理者として管理運営しているところです。

くわどり市民の森は、標高330mの地点にあり、面積は272haあり、温泉ある宿泊施設と自然体験活動が可能なフィールドをもったところです。降雪のため冬期は休みとなります。

地球環境学校は廃校を活用した施設で通年活動をしております。スタッフが地域住民の方々と一緒に多くの参加者の受け入れており、地域ぐるみの活動を展開しているのが印象的でした。

山里ファン倶楽部では常勤者を8名かかえ、地域住民の協力を得ながら、全国各地から多くの参加者を受け入れ活動しておりました。

地域住民と一緒に活動に取り組んでいる内容については、本会として今後大いに学ぶところがあると思っており、できれば年度内に上越行きの勉強会を計画したいと考えているところです。

【森林整備班】

1. 定例活動

今期の活動は栗園跡地再生整備、炭窯の窯出し・窯入れ作業、子供の遊び場の整備などを行いました。

(R1.10.1~12.28)

月/日	曜日	天候	作業事項	参加者(名)
10/2	水	曇	プロによる大径木の伐採作業の補助	3
5	土	晴	伐木処理	2
9	水	晴	栗園跡地の下刈り	7
16	水	晴	〃	3
23	水	晴	伐木処理	6
30	水	晴	栗園跡地の下刈り	6
11/2	土	晴	栗園跡地の下刈り	5
6	水	晴	子供の遊び場の整備作業	3
13	水	晴	栗園跡地の枯損木伐採と下刈り	8
16	土	晴	〃	5
20	水	晴	〃	5
27	水	曇	栗園跡地育樹祭の準備作業	6
30	土	晴	〃	3
12/4	水	晴	子供の遊び場の整備作業	3
7	土	曇	伐木処理	5
11	水	曇	伐木処理	6
14	土	晴	炭窯の窯出し・窯入れ作業	7
15	日	晴	炭窯の管理作業	2
16	月	晴	炭窯の管理作業	2
17	火	曇雨	炭窯の管理作業	2
18	水	曇晴	炭窯の窯止め作業・伐木処理	4
21	土	曇雨	伐木処理	4
25	水	晴曇	〃	6
計				103

2. 定例整備以外

(1) 11月2日~3日の2日間、国際ワークキャンプの参加者に対して森林整備の指導を行いました。

(2) 子供の遊び場の中の空中回廊作りを木工班のメンバーを中心に行いました。

3. 海外林整備活動

海岸林整備活動は次のとおりです。

(R1.10.1～12.28)

月/日	曜日	作業の内容	会員・未来基地	ボランティア	計
10/10	木	下刈り、植樹	2	11	13
21	月	〃	4	57	61
11/2	土	〃	4	66	70
16	土	〃	2	28	30
30	土	〃	3	12	15
12/7	土	〃	3	34	37
		計	18	208	226

※ この期間に予定した活動が台風の影響により多く中止になりました。 (松崎記)

【農業班】

秋の台風シーズンで、9月から10月にかけて台風15号と19号が関東を直撃し、その後10月下旬の豪雨の影響で野菜の苗が被害に遭いました。

1. 森の学校での芋掘り体験

5月の森の学校でさつま芋の苗を畑に植えましたが、今回は参加者6名で芋掘り体験を行い、10株の芋を掘り上げました。芋の出来は普通で、焼き芋サイズ（お土産に各々、3kg）でした。



10月20日 森の学校 芋掘り

2. 落ち葉堆肥を畑に投入する作業

一年間熟成してきた落ち葉堆肥を畑に投入して、耕運機で漉き込む作業を行いました。会の畑は粘土質のため、大雨が降ると土が軟弱になり、乾燥が続くと土が石のように硬くなってしまいますので、落ち葉堆肥を畑に入れて土壌を改良しています。



12月16日 落ち葉堆肥をどうぞ



ああ、しんどいね

3. 秋の収穫作業（主なもの）

さつまいも（9/30、10/14、10/28）、里芋（11/4、11/25）、大蕪（12/1、12/2）ダイコン（11/18、11/25）などの収穫作業を行いました。
台風などの影響がありましたが、後半は順調に育ち出来はますますでした。

4. その他

- 1) 刈り払い機で畑周りの草刈り作業；10/3、10/7、10/21 に実施しました。
- 2) ハウス内に種イモ保存用の穴を掘り、さつまいもと里芋などを埋めました（11/18）。
- 3) Tさんの里芋（赤芽）が8月下旬に珍しい花を咲かせ、11月には花後の結実を見ました。
- 4) ブルーベリー畑の除草と枝の剪定、施肥や防草シート張り替えなどを12/9に行いました。
- 5) 秋後半になって、イノシシが畑の一部に侵入はじめました。被害はいまのところありません。
- 6) 年末恒例の落ち葉かきを山荘の観察道付近で12/23に行いました。

農作業班：太田 記

【プログラム班】

1. 学校等における学習支援活動

今期は10月に6回、11月に8回そして12月に1回合わせて15回の支援を行いました。
その一覧は、別表のとおりです。

これらの活動の中で今回は小玉小、江名小それに錦東小の1年生を対象にした生活科の支援についてと綴小の5年生の森林整備体験活動の支援のあらましをまとめてみます。
3校の1年生の生活科の支援はこれまでもドングリや松ぼっくりを使ったおもちゃ作りと木工クラフトを組み合わせて行ってきましたが、今年はおもちゃを作ってそれで遊ぶ時間を十分にとりたいとの学校からの要望を受け、簡単なおもちゃを4種作り（ドングリや松ぼっくりそれにエゴの種を使ったもの）、それを使って遊びを工夫するような内容に変えてみました。子ども達には大好評でした。

また、綴小の5年生の森林整備体験は数年前から行われていますが、今年度は山荘北側の竹林の手入れをしてもらうこととし、不用竹と不用木の除伐作業を行いました。
その活動のようすは、写真のとおりです。

学習支援活動（10/1~12/31）

No.	月 日	学校等名	学年	学習	参加者	支援者数
1	10月 1日 (火)	小玉小	1	生活科	25	7
2	10月 4日 (金)	小玉小	1	生活科	25	7
3	10月 23日 (水)	錦東小	1	生活科	26	5
4	10月 24日 (木)	綴小	5・6	総合学習	25	10
5	10月 28日 (月)	錦東小	1	生活科	26	5
6	10月 30日 (水)	綴小	1~4	総合学習	36	9
7	11月 1日 (金)	錦東小	1	生活科	84	7
8	11月 5日 (火)	錦東小	3	総合学習	24	6
9	11月 6日 (水)	江名小	3・4	総合学習	40	10
10	11月 12日 (火)	江名小	1	生活科	17	6
11	11月 14日 (木)	中央台北小	4	総合学習	47	10
12	11月 15日 (金)	綴小	5	総合学習	11	6
13	11月 22日 (金)	江名小	1	生活科	28	6
14	11月 28日 (木)	平六小	3	総合学習	44	9
15	12月 10日 (火)	藤原幼稚園		木工クラフト	20	4
					478	35



錦東小1年 3回目幼稚園児の教えているところ



江名小1年 作ったマラカスで歌を歌っている



綴小5年 竹を切っているところ



綴小5年 切った竹を集めている



小玉小1年 校内での秋探し

【ろうきん森の学校】

I. 令和元年 10月20日(日)(天候・晴)

(1) 実施内容

① 自然観察会 ② 自然体験活動 ③ 木工クラフト(子供対象)

(2) 参加者数 29名

(3) 実施結果

今回の自然観察会は「どんぐりころころ」とのテーマで、事前に勉強会をした後子供グループはいろいろなどんぐりを拾い、その違いを観察し、その名前を学びました。また拾ったどんぐりで独楽を作り、遊びました。一方大人を中心としたグループは農業班のフィールドである笠石で観察した後、サツマイモほりの体験をしました。木工クラフトでは、メモ用紙立てを作りました。

昼食はサツマイモのご飯と天ぷらに、ナメコ汁でした。



どんぐりコマで遊ぶ



メモ用紙立てづくり



芋ほり

Ⅱ. 令和元年 11月 17日 (日) (天候・晴)

(1) 実施内容

① 自然観察会 ② 自然体験活動 木工クラフト (子供対象)

(2) 参加者数 40名

(3) 実施結果

今回の自然観察会は「落ち葉のプールを作ろう」とのテーマで、子供グループは木の実・草の実を探し、それらの実に着目して植物が増える仕組みを学び、大人のグループはそれに加えてネイチャーゲームを体験しました。

木工クラフトでは、どんぐり人形と木の実を使ったストラップを作りました。

昼食はカレーライスとキノコのみそ汁でした。



ストラップ作り



木の実探し

Ⅲ. 令和元年 12月 15日 (日) (天候・晴)

(1) 実施内容

① 自然観察会 ② 自然体験活動 ③ 木工クラフト (子供対象)

(2) 参加者数 41名

(3) 実施結果

今回の自然観察会は「落ち葉のプールを作ろう」というテーマで子供グループはたくさんの落葉を集め、プールをいっぱいになりました。大人のグループはすっかり葉を落とした山荘周囲の冬景色を観察しました。

希望者はそば打ちの体験をしました。

木工クラフトでは、松ぼっくり人形と紙コップを使ったけん玉を作り、楽しく遊びました。

昼食は毎年 12 月恒例となったざるそばと天ぷらそれに山荘で収穫したキノコを使った炊き込みご飯でした。

(佐藤 烈記)



落ち葉集め



そば粉をこねる



松ぼっくり人形

【国際ワークキャンプ】

11月1日～4日、国際ワークキャンプの活動を行いました。

当初計画では、香港、台湾、韓国、日本の4か国の若者達の活動でしたが、韓国の問題などから香港3名、日本人4名計7名の活動となりました。

11月1日 参加者とのミーティング

11月2日 午前 栗園跡地の下刈作業

午後 山荘北側の竹林整備

11月3日 午前 ・午後 竹林整備と伐竹のチップ処理

11月4日 振り返りと清掃作業

なお、本会会員は2日に6名、3日に4名参加しました。



子供の遊び場の回廊作り

平成30年7月より2年計画で取り組んでいる子供の遊び場作り計画のなかの長さ50m高さ110cmの回廊作りについて11月9日に着手して約2ヶ月の期間をかけてほぼ完成することができました。

回廊作りは、木工班メンバーの3名が中心となり23日延42名の力で作ることができました。

これ以外の施設を含めて今年6月末迄にはなんとか完了させたいと思っております。

具体的な運用方法等については今後とりまとめて行いたいと考えております。



林研グループ交流促進事業

福島県関係の事業として今年度計画のうち10～12月には次のとおり実施しました。

木工工作

月日	製作物	参加者数	スタッフ数
10/27	大人：小物入れ 子供：木の枝貼り付け	17	5
11/10	〃	20	3
12/8	〃	19	5

自然観察会

11/23 湯ノ岳フィールド

参加者 17名 スタッフ 3名



(発行) NPO 法人いわきの森に親しむ会

(発行責任者) 木田章一 (編集担当者) 鈴木小百合

(事務局) 〒972-8326 いわき市常磐藤原町湯ノ岳2 湯ノ岳山荘内

TEL/FAX 0246-44-3273 E-mail:yunodake@gray.plala.or.jp

HP : <http://iwaki-mori.Jimdo.com/>

Facebook : <https://www.facebook.com/iwakinomori>